

社団法人全日本学生柔道連盟だより

第8号

2003年7月31日発行

編集・発行 総務担当理事部会

■学生柔道に思う 一財政基盤確立のためにー

犯罪の低年齢化、残虐性が高まる風潮の中で、今こそ青少年の健全なる心身の発達と人格の陶冶に、柔道が大いに寄与するものであることが見直されてしかるべきだという感を強くします。

嘉納治五郎師範が、柔道を青少年の教育の手段として位置付けたことを挙げるまでもなく、例えば、投げた時には相手の片袖をもって相手に怪我をさせないように思いやるのは、他の格闘技には見られない柔道のすばらしい特質であります。

もっとも、最近の柔道は、ガッツポーズが横行するダサイスポーツに成り下がり嘉納師範の理念との乖離が懸念されますが、当連盟としては、柔道の原点に立ち返って、学生柔道の振興に尽くしたいものであります。

ちなみに、同じく礼節を重んじる剣道では、試合後ガッツポーズをした途端に判定が取り消されて、ガッツポーズをした選手は負けになると聞いています。

柔道の原点に立ち返るということは、魅力溢れる柔道の復活に他ならず、その結果、柔道人口は増加し、財政基盤も自ずと確立されることになるのではないかと思う次第であります。

昨年度は、読売新聞社の撤退で当連盟の財政的な基盤の確保が問われましたが、平成14年11月1日に開催されました第14回理事会において、平成15年度からは審判員と理事の旅費を暫定的ではありますが各地区負担とするようになったこと及び主管の大会運営費の節減等が寄与し、後述のとおり平成15年度は収支

バランス出来るようになりました。

人事面では、任期途中で副会長の渡辺喜三郎氏が辞任され新たに野田 亘氏が副会長として選任されました。

平成15年6月27日に開催された第15回通常総会においては、平成14年度事業報告及び収支決算と平成15年度の事業計画及び収支予算がそれぞれ承認されました。

平成14年度収支決算に関しては、大会の事業収支は収入が38,630千円で支出が35,681千円で2,948千円のプラスとなりましたが、全体の収支は収入が60,069千円で支出が61,982千円で1,912千円のマイナスとなりました。

平成14年度の体重別選手権大会からは、朝日新聞社に読売新聞社の代わりに主催していただくことになりましたが、残念ながら金銭的な助成は得られませんでした。

平成15年度の事業計画では、警察と実業団との三者対抗の全日本柔道団体選手権大会の開催はしばらく凍結することとなった他は例年とおりであります。

収支予算については、収入が52,104千円、支出が51,760千円で344千円の若干黒字となっております。

人事面では、東京の津沢寿志氏の辞任に伴って大崎日出夫氏が、北海道の畠中金雄氏の辞任に伴って工藤正義氏がそれぞれ新しく理事に選任されました。

今年度の理事等は下記の通りです。

法人化後の収支推移は下表の通りです。

社団法人 全日本学生柔道連盟
常務理事 清水 周

理事(20名) 6月27日現在

柘植 健 司(会長)	長谷川 優(東海)
井之上 正 信(副会長 関西)	湊 谷 弘(北信越)
野田 亘(副会長 指名)	中 治 洋一(関西)
清水 周(常務理事 東京)	伊 藤 剛(関西)
網 倉 大 介(事務局長 指名)	岩 田 勝(関西)
工 藤 正 義(北海道)	岡 裕 史(指名)
佐々木 安 廣(東北)	大 谷 崇 正(中国四国)
柏 崎 克 彦(関東)	中 原 一(九州)
小 俣 幸 嗣(関東)	監事(3名)
下 川 哲 徳(東京)	小 山 泰 文(東京)
高 木 長之助(指名)	中 西 康 明(関西)
大高崎 日出夫(東京)	安 江 邦 治(指名)

法人化後の収支推移 単位千円

年度	収 入	支 出	差 額	繰 越
H 8	—	—	—	4,726
H 8	71,782	56,412	15,370	20,078
H 9	69,713	71,045	▲1,332	18,746
H 10	64,086	61,977	2,109	20,855
H 11	59,998	54,359	5,639	26,494
H 12	61,965	57,883	4,082	30,576
H 13	71,013	71,635	▲622	29,954
H 14	60,069	61,982	▲1,912	28,041

正会員数 (地区学生柔道連盟別・2003年6月27日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海	北信越	関西	中国四国	九州	合計
25	28	45	44	34	19	54	31	45	325

＜北海道＞

北海道学生柔道連盟の活動状況について

北海道学生柔道連盟では、昭和63年度から前年度までの15年間の永きに渡り会長の要職を勤められ、多大な貢献を頂いた櫻井産業学園総長の櫻井淳先生が後進に道を譲られたのに伴い、平成15年度大幅に役員が変更しましたので報告します。

新会長の武田泰明氏は北海道大学OBで、昭和58年度から61年度までの学柔連混迷期に理事長を、その後14年間副会長を務められておりました。現在は札幌にあり柔道を校技としている超進学校である学校法人希望学園の北嶺中・高等学校長に就かれていながらの就任です。

また、理事長には35年間理事を務めていた専修大学北海道短期大学の工藤正義が就任しますが、北海道学生柔道連盟の諸問題を解決するために若くて力がある副理事長3名に協力してもらい、連盟の財政、加盟校の減少、審判員の育成、学生の参加などの課題に対応しようと思っています。事務局長には若手の岩井真氏が就任したので、新規役員とベテランの役員が協力してみんなで話し合いながら、櫻井会長時代に比べて弱体化したといわれないう、新たな北海道学生柔道連盟づくりを目指します。平成15年度の役員(敬称略)は次の通りです。

名誉顧問	堂垣内 尚 弘
	櫻 井 淳
顧 問	柳 沢 甚之介
	須 貝 忠 吉
	山 屋 榮 司、
	高 梨 幸 輔
参 与	川 田 一 友
	栗 原 勇 介
会 長	武 田 泰 明
副 会 長	丸 山 淳 士
	畠 中 金 雄
	吉 田 博 一
理 事 長	工 藤 正 義
副理事長	石 本 詔 男
	小 山 尋 明
	河 合 一 丸
常任理事	宮 本 正 範
	金 沢 美樹彦
	藤 島 智
	十 倉 宏
	安 達 昭 弘
監 事	小田島 武 志

事務局長 岩 井 真
事務局次長 阿 部 真 久

北海道学生柔道連盟
理事長 工藤 正義

＜東北＞

平成15年度の活動方針

東北学生柔道連盟は、平成15年2月24日(月)に、盛岡市のイーハトーブこずかた(旧不来方会館)に於いて定期理事会を開催し、事業並びに決算報告と共に、新年度の方針と計画について検討した。特にその中で話題となったことは、東北地区の学生柔道のレベルをどの様にして引き上げていくかということや、本連盟の更なる発展を期するために各大学の協力体制を如何にしていくか、また、地区予選大会の運営方法などについて活発な意見が出され中身の濃い理事会となった。

討議では、隔年で実施してきた本学生柔道連盟独自の海外遠征について、近年の厳しい経済事情の中で今後どうするかということが問題となったが、地区大会のプログラム広告集めを加盟大学全体に協力依頼をし、今年度も実施する方向で全員が了承し、実施に際しての訪問国などの具体的内容について検討して行くこととなった。

また、部員数の減少などのために活動が鈍って来た大学も若干出てきているという報告もあり、各大学への連絡の強化を図り、活性化のためのアドバイス等を事務局からも発信して出来るだけ連絡が途絶えない様にし、部の活性化を促して行くことになった。

本連盟主催の地区予選大会の運営面では、大会の発展性や公平性について話題になり、体重別団体優勝大会の代表校の選出の方法について再検討することになった。討議の結果出場数(3)に分けたブロックでリーグ戦を行っていた今までのやり方よりも、トーナメント方式の方がより公平性が高いということで、今秋の地区予選大会から取り入れることになった。

その他、新しく入会申込みの青森中央学院大学が全会一致で承認され、本連盟としては過去最多加盟校数の28校となった。

以上のように本連盟では、常に連盟全体の発展を考えて討論が活発に行われ、建設的な意見が多く、加盟理事全員の努力によってスムーズな運営がなされている。

今年度の役員は次の通りである。

名誉会長	菊 地 金 男
顧問	藤 巻 忠 昭
会長	石 田 昭 二
副会長	遠 藤 純 男
理事長	佐々木 安 廣
副理事長	三 戸 範 之
事務局長	高 橋 富士男
監 事	大 関 貴 久 南 條 充 寿
学生役員委員長	照 井 旭 (東北学院大学)
副委員長	首 藤 康 浩 (富士大学) 飯 島 早 瀬 (東北大学) 荒 木 健 司 (秋田大学)

東北学生柔道連盟
理事長 佐々木安廣

< 関 東 >

平成15年度を迎えて

平成15年度の本連盟の主要事業計画は、5月18日関東学生柔道優勝大会、同女子優勝大会、9月6、7日関東学生柔道体重別選手権大会、同女子選手権大会の2競技会の開催、8月26～28日第21回全国大学柔道指導者研修会の主管、年2回の審判講習会の開催と海外研修の実施である。優勝大会は過日行われ、男子6校、女子5人制、3人制共に4校の代表を決定した。長い間、さいたま市浦和にある埼玉県立武道館でこの大会を開催してきたが、来年度行われる国民体育大会の開催場所として上尾市に新しい県立武道館が建設されたため、ここでの大会は今回をもって最後となった。これまで大会を無事に行えたことに感謝したい。なお、代表権を勝ち取った各校の選手には、母校の名誉を勝ち取ることと併せて、関東学生柔道連盟を代表する者として、「一本」を追求する柔道の醍醐味を見せてもらえるよう祈念する。

また、今年9月、大阪府において「世界柔道選手権大会」が開催される。本連盟からは、女子63Kg級に谷本歩実（筑波大学4年）選手の出場が決まっている。前回3位という結果であったが、その持ち前の豪快な柔道で更に良い成績を収められることを期待したい。

さて、昨年、20年の長きに亘って全日本学生柔道体重別選手権大会を支えていただいた読売新聞社が大会後援を撤退され、その影響が徐々に始めている。本連盟では、2月に総会を行ったが、その際諮った収支予算書に「修正」を加えたものを5月の大会後に行われた理事会にて承認いた

だいた。全日本大会への審判員交通費の計上に伴うためである。これまで東京の大会時に合計22名、関西の大会時に2名の審判員を派出し、約71万円の費用を全日本学生柔道連盟よりいただいていた。今年度は、この部分を各地区柔道連盟で負担することになっている。年間約300万円の収入で前記主要事業を運営している立場からすると、先に挙げた費用負担は非常に重く、もしこの状態が数年続くようであれば、関東学生柔道連盟の会計残高は2年で底をつき、自らの事業も行うことができなくなる（総会では、監事より海外研修の続行は難しいとの指摘がなされた）ように思われる。

経済状況の厳しい現在の日本で、有力なスポンサーを見つけることは容易なことではない。そのことは重々承知しており、我が連盟としても先に記したことが起こらないよう（杞憂に終わるよう）に、切り詰められる部分は切り詰め、また、新たな収入源の確保他の対応を考えている。（社）全日本学生柔道連盟のより良い運営を希望するものである。

関東学生柔道連盟
事務局長 中村一成

< 東 京 >

安定財源確保へ「サポーター制度をスタート」

東京学生柔道連盟は、昨年度より「財政基盤・構造等の大幅な見直し」を進め、平成14年度においては、大会事業費や内部管理費（事務所経費等）にかかる経費を見直し、削減を図り一定の成果をおさめました。本年度においても引き続き、連盟の運営指針（ガイドライン）により、大胆な経費節減と事務の合理化を推進いたします。さらに安定した財源確保をねらいとした、連盟サポーター制度（連盟賛助会員制度）もスタートさせました。この制度は、学生柔道を応援する個人サポーター・法人サポーターでの協力をお願いし、連盟が主催する大会には招待席を確保するなどの特典をもうけております。これらの取り組みにより、財政状況が安定化された段階で、海外研修や審判講習会などを実施し、また法人化をも視野に入れ、学生柔道の発展と普及を目的とし、本年度の運営にあたっております。

また、連盟オフィシャルホームページについては、本年5月にリニューアルし、各種大会情報や大会結果速報等を掲載して好評を得ています。あわせて大会試合抽選のコンピューター化をすすめ、ITを活用した事務の効率化を図っております。組織の効率化を推進するため、一昨年度より専門

委員会制度がスタートしましたが、さらにフットワークのよい体制をつくりあげるために、本年は委員会再編を試行するとともにフラット化を進め、来年度の本格的な再編へ備えていきます。

なお、平成14年度末に発刊いたしました「戦後復活五十周年記念誌」については、関係各位のご協力を賜り、1年半に及ぶ編集作業も終了し、また予定冊数も完売いたしました。こころより感謝申し上げます。

結びに、平成15年度も諸事業を円滑にすすめるため、連盟役員・学生役員一致結束して努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

東京学生柔道連盟
理事長 高木長之助

◇ 本年度役員について

本年度役員については、非改選年度であり、渡辺喜三郎会長以下平成14年度と同様となりますが、平成14年9月より副理事長に大崎崎日出夫氏が就任いたしました。また、学生役員が新人の加入もあって昨年度とは顔ぶれが大きく変わりました。以下の通りです。

特別顧問	瓦	力
	原 田	義 昭
	佐 伯	弘 治
顧 問	小 粥	義 朗
	飯 田	穎 男
	柘 植	健 司
	野 田	亘
会 長	渡 辺	喜三郎
副 会 長	下 川	哲 徳
	関	勝 治
	藤 田	慶 治
	渡 辺	明 治
理 事 長	高 木	長之助
副理事長	網 倉	大 介
	大崎崎	日出夫

(専門委員会)

総務事業委員会	西 川	直 好
	細 田	明
財 務 委員会	仲 道	逸 夫
	長 瀬	誠
普 及 委員会	白 瀬	英 春
	渡 邊	昌 史
	廣 瀬	伸 良
	安 藤	慶 子

(事務局・学生役員)

事務局長	網 倉	大 介
次 長	西 川	直 好
学生委員長	石 井	政 利 (日本体育大学)
副委員長	小 野	洋 平 (早稲田大学)
	勝 田	貴 之 (法政大学)
委 員	竹 村	公 作 (帝京大学)
	渡 邊	武 彰 (日本大学)
	三 谷	瑛 範 (早稲田大学)
	渡 辺	崇 (日本体育大学)
	海 野	宏 章 (日本大学)
事務局員	秋 森	淳 子

◇ 行事予定について

5月29日

第52回東京学生柔道優勝大会

第14回東京学生女子柔道優勝大会
(日本武道館)

6月28日・29日

第52回全日本学生柔道優勝大会

第12回全日本学生女子柔道優勝大会
(日本武道館)

9月7日

第22回東京学生柔道体重別選手権大会

第19回東京学生女子柔道体重別選手権大会
(日本武道館)

10月4日・5日

第22回全日本学生柔道体重別選手権大会

第19回全日本学生女子柔道体重別選手権大会
(日本武道館)

11月22日

第45回東京学生柔道二部優勝大会

第3回東京学生柔道オープン大会
(講道館)

以上の通りですが、各大会円滑な運営ができるよう最善の努力をしております。

◇ 加盟校の推移について

ここ数年減少傾向にあった東京学生柔道連盟の加盟校数ですが、今年度は44大学と、若干の入れ替わりはあるものの昨年度と同数を維持しました。あらたに加盟した大学の中には、加盟校以外からも参加できる「オープン大会」参加大学もあり、学生柔道の裾野を広げることをめざした大会の成果があがっているものと思われます。今後も学生柔道の普及をはかるために、「オープン大会」への参加を契機として、加盟を得られるよう努力していきます。

(連盟事務局)

◇ 学生役員より

主管として大会運営をするうえで、各地区連盟には毎年のご協力をいただきありがとうございます。

活気ある学連—そんな空気が今年度の東京学生柔道連盟の事務局を包んでいます。これまで、役員の先生方と学生達との徹底した話し合いにより、正すべきは正し、効率的かつ円滑な役割分担の確立をしてまいりました。今年度は1年間の業務のマニュアル化を図り、スムーズな大会運営が出来るように学生役員全員で協力していきたいと思ひます。

また様々な社会問題が起こっている中で、あらためて柔道の「精力善用・自他共栄」の精神が見直される時期ではないかということ踏まえ、「学生柔道はいかにあるべきか」というような問題にも学生として具体的に取組めればと考えております。

各地区連盟の皆様、何卒ご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

東京学生柔道連盟学生委員長 石井政利

<東海>

平成15年4月の理事会、総会で新役員を選出した結果、前役員が再選された。

岡野会長は礼の乱れを憂い、機会あるごと「礼の大切」を説かれ、試合その他の場で礼が励行できるよう促しておられます。

連盟の競技力は低迷状態にあり、これに対する抜本的な打開策は見つかりません。こんな状況のなか全国大会での名城大学女子の活躍が励みの支えになっている。

財政面は多くの地区と同様に危機状態にあり、加盟大学の分担金、参加料の値上げ等を議題にあげざるを得ない状況となっています。

○役員(任期 平成15~17)

会 長	岡野 正義
副 会 長	高柳 喜一 森 基要 山本 富男
理 事 長	長谷川 優 (中京大学・中京大OB)
副理事長	金子 修己 (中部大学・東京教育大OB) 関 巖 (名城大学・日本体育大OB)
学生委員長	坂本 義匡 (中京大学)
副委員長	笹木原久貴 (名城大学)

○平成14年大会記録

第21回東海学生柔道体重別選手権 5.19 愛知県武道館
60kg 鈴木(愛学院) 66kg 安木(愛学院)
73kg 奥村(中京) 81kg 室井(愛学院)
90kg 久野(名城) 100kg 古賀(名城)
100kg超 一宮(中京)

第19回東海学生女子柔道体重別選手権

48kg 鯖江(中京女) 52kg 岡田(愛知産)
57kg 鈴木(愛知産) 63kg 近藤(同朋)
70kg 梶田(静岡) 78kg 片岡(名城)
78kg超 平林(名城)

第49回東海学生柔道夏季優勝大会 8.25 愛知県武道館
1位 名城大学 2位 中京大学

第9回東海学生女子柔道優勝大会

1位 名城大学 2位 愛知産業大学

第50回東海学生柔道冬季優勝大会 11.23 愛知県武道館
1位 名城大学 2位 中京大学

○平成15年行事

1. 4月26日(土) 理事会・総会
2. 5月18日(日) 第50回東海学生柔道夏季優勝大会
第10回東海学生女子柔道優勝大会
3. 7月 未定 理事会
4. 8月24日(日) 第21回東海学生柔道体重別選手権大会
第19回東海学生女子柔道体重別選手権大会
5. 9月 未定 第5回全日本学生柔道体重別団体優勝大会
6. 10月 未定 理事会
7. 11月23日(祝) 第50回東海学生柔道冬季優勝大会

東海学生柔道連盟
理事長 長谷川 優

<北信越>

近年、北信越学生柔道連盟の会議で必ず出される問題は、①財源確保、②加盟校の増加、③本連盟の競技レベルアップなどです。

①については、全日本学生柔道連盟から負担されていた全国大会への審判員、理事派遣費の調達についてが主なものです。当連盟の例年の予算内では大幅に赤字になってしまふことが確実であり、新たに、賛助会員などの会員を募り、会費からの収入や、大会協賛金などによる財源確保などを企画しています。幸いにも、理事長の湊谷先生から多くのご提案を頂き、計画を進めているところです。

②は近年の少子化や柔道離れなどもあり、当連盟においても柔道部の維持が非常に困難になってきている加盟校も

あります。高校生の柔道人口の減少も拍車をかけ、柔道経験のある監督や顧問がいない大学では、部員確保が非常に重要な課題になっています。特に、国公立大学では顕著です。これについては今のところは各大学に任せているのが現状ですが、今後は連盟としても対策を立てる必要があると思われる。

③は毎年行われている当連盟主催の強化練習会を中心に男女ともに全国大会で活躍できる力を養うべく、取り組んでいます。この強化練習会は2回／年のペースで行われ、特に男子では遠方からの参加者もあり、盛況に行われています。ぜひ、興味のある方はご連絡下さい（北信越学生柔道連盟事務局 高岡法科大学 吉見浩二まで）。

<行事予定>

5月18日 (県営富山武道館)

北信越学生柔道優勝大会

北信越学生女子柔道優勝大会

8月31日 (石川県立武道館)

北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会

北國杯北信越学生女子柔道体重別選手権大会

9月23日 (石川県立武道館)

北信越学生柔道体重別団体優勝大会

強化練習会

男子：平成15年8月13日～17日（金沢工業大学）

平成16年3月 8日～13日（金沢工業大学）

女子：平成15年8月 1日～ 3日（金沢学院大学）

平成16年3月23日～25日（金沢学院大学）

北信越学生柔道連盟
常任理事 渡辺涼子

<関西>

① 平成15年度関西学生柔道連盟行事日程

平成15年5月25日（日）

第53回関西学生柔道優勝大会

第11回関西学生女子柔道優勝大会

場所 尼崎市記念公園総合体育館

平成15年8月30日（土）

第5回関西学生柔道体重別団体優勝大会

場所 グリーンアリーナ神戸

平成15年8月30日（土）・31日（日）

第22回関西学生柔道体重別選手権大会

第15回関西学生女子柔道体重別選手権大会

場所 グリーンアリーナ神戸

平成15年11月2日（日）・3日（月祝）

第5回全日本学生柔道体重別団体優勝大会

場所 尼崎市記念公園総合体育館

② 本年度の抱負

年度始め、理事長を始めとし、事務局の先生方と学生役員による前年度の反省および本年度の試合運営について打合せを行った。

本年度の抱負として我が連盟では、事務局として各大会の運営（準備段階から）について役割分担制を引き、各々の業務について検討しました。準備段階に怠りがないか、また試合当日いかにスムーズに大会を運営していくかを討議する等、大会をより意義の有るものにするために連盟一同、多忙善断を期している。学生が学生自身のための大会を運営していく中でいかに参加校の協力を得るかが重要になるが、参加学生の意識向上も大切である。大会までの日程から逆算して、抽選会日時・書類送付等の作業日程を詳細に作成し、それに準じて連盟員が作業にあたり、各々進み具合を作業日誌に書き込むことも引き続き実行している。年々、柔道部員減少の中、学生役員については本年度卒業生も多数おり、次年度の中心となる役員の教育にも力を入れて行きたい。

今年11月の男子体重別団体優勝大会は、関西で開催して5年目になる。大会運営上真価を問われる今、昨年の反省を生かし準備を進め、連盟役員・学生役員が一致協力し、当たっていく所存である。

次に関西地区のレベルの強化である。近年全国大会において関西選抜選手の健闘も空しく上位に食い込むことが、かなり難しく見受けられる。レベルの強化については毎年合宿、遠征等、積極的に行っているがさらに強化向上の策を練り、レベルアップに努めていくことを目標とする。

③ 役員の紹介および加盟校

名誉会長	城戸 亮
会 長	古谷 七五三
副会長	井之上 正信
	中治 洋一
	伊藤 剛
理事長	岩田 勝

以下18名、また、顧問ドクター17名、審判顧問5名、審判員88名、理事40名、評議員41名で構成されている。学生役員は10名（4月1日現在）である。

最後に加盟校は50校を数え、各府県別では、大阪24校、京都12校、兵庫10校、奈良4校、滋賀1校、和歌山2校である。

連盟事務局

<中国四国>

● 役員紹介

中国四国学生柔道連盟は平成15年2月16日に常任理事会を開催し、役員の改選を行ったが、来年度が連盟創設50年を迎えるため人事の入れ替えは控えた。

主たる役員を以下に紹介致します。

会 長	鏡原 壽	(香川大学OB)
副 会 長	太田 正和	(岡山理科大学教)
	五島 昌明	(松山大学教)
理 事 長	大谷 崇正	(岡山商科大学教)
副理事長	藤岡 正春	(島根大学教 審判担当)
	水口 文洋	(海上保安大学教 総務担当)
	吉岡 剛	(徳山大学教 登録担当)
常任理事	中山 邦男	(岡山大学OB 競技担当)
	西田 弘展	(広島工業大学教 大会事務担当)
	林 昇	(広島電機大学教 大会事務担当)
	林 孝	(広島大学教 会計担当)
	浜岡 富雄	(松山大学職 50周年記念担当)

他 常任理事5名

● 行事予定

2月16日

中国四国学生柔道連盟常任理事会 (岡山商科大学)

4月13日

中国四国学生柔道連盟幹事会 (広島県立体育館)

5月23日

中国四国学生柔道連盟理事会・総会 (広島県立体育館)

5月24日

中国四国学生柔道優勝大会・同女子 (広島県立体育館)

5月25日

中国四国学生柔道選手権大会・同女子 (広島県立体育館)

7月13日

中国四国学生柔道連盟幹事会 (広島国際大学)

8月16日

中国四国学生柔道体重別優勝大会 (徳山大学)

8月30・31日

中国四国学生柔道体重別選手権大会・同女子 (広島市東区スポーツセンター)

● 今年度の抱負

来年度本連盟創設50周年を迎える準備を今年度中に行わなければならないと同時に、本連盟では優勝大会それに付随した選手権大会、体重別選手権大会等の連盟主催大会を各大学が輪番制で主管を務めてきた。それもこの50年を持って二順目が終了する。

現状を考えるに少子化の影響等で部員数の減少した大学

が多く見られ、主管を引き受けることの出来ない大学が多く見られるようになってきた。そこで大会会場の固定化を模索しているところです。固定化となれば本連盟は広範な地域であるため大会会場地の大学に大きな人的、経済的負担をかけることになる。この問題も本年度中に解決し、50周年を新たな門出として発展していきたい。

今年度も宜しくお願い致します。

中国四国学生柔道連盟

理事長 大谷 崇正

<九州>

平成15年度九州学生柔道連盟定例総会を5月24日(土)に開催し、議事は全て無事に可決した。総会終了後に懇親会を行い、今後の学生柔道のありかた、昔話にと楽しいひと時でした。

また、5月24・25日の両日で、第52回九州学生柔道優勝大会及び第12回九州学生女子柔道優勝大会を開催し(男子23校、女子5人制3校・3人制7校)、男子では福岡大が10年連続29回目の優勝を果たし、女子では、5人制は東和大・3人制は福岡工業大が優勝いたしました。

役員及び15年度の九州地区の行事は次の通りです。

会 長	藤 田 弘 明
副 会 長	筑 紫 仁
	大 滝 忠 也
	園 田 勇
理 事 長	中 原 一
副理事長	安河内 春 彦
事務局長	小樋井 勝 政

9月6日(土)

第17回九州学生女子柔道体重別選手権大会

9月6日(土)・7日(日)

第47回九州学生柔道体重別選手権大会

9月27日(土)

第5回九州学生柔道体重別団体優勝大会

九州学生柔道連盟

理事長 中原 一

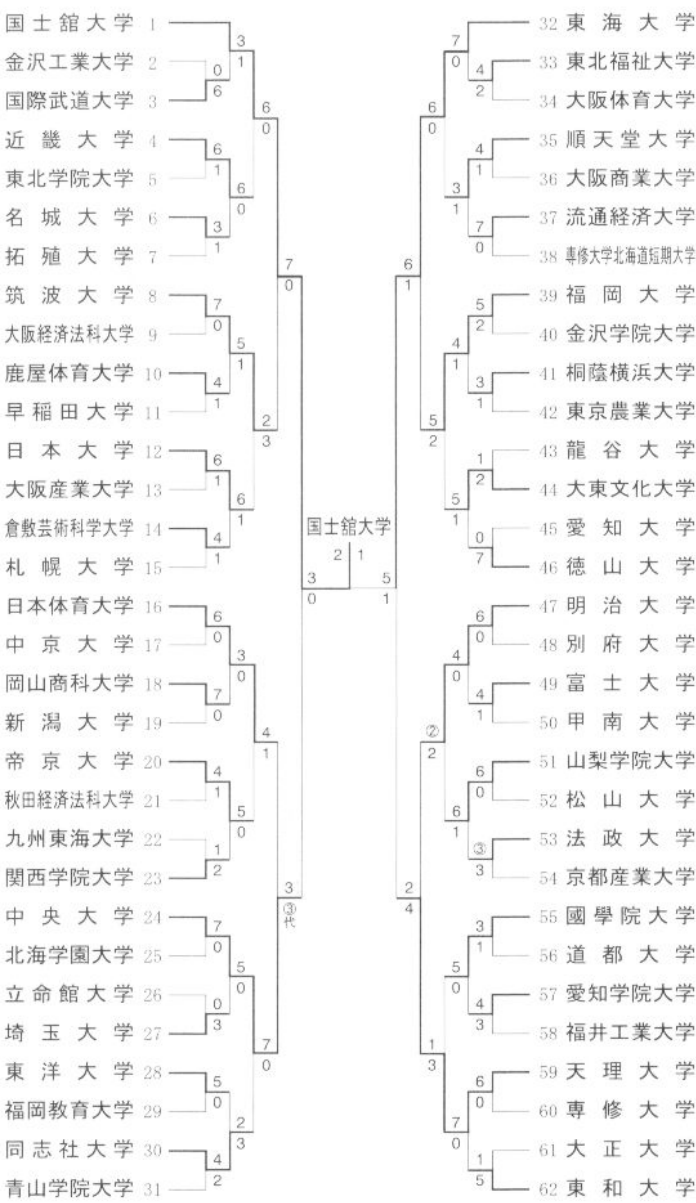
全日本学生男子・女子柔道優勝大会(6月28・29日)

男子団体	
優勝	国士舘大学
準優勝	東海大学
3位	中央大学
3位	天理大学
ベスト8	日本大学, 日本体育大学, 福岡大学, 明治大学
優秀選手	上坂正語, 高井洋平(国士舘大学) 今本悠貴, 小野俊教(東海大学) 里山裕晃(中央大学) 穴井隆将(天理大学) 紺野大輔(日本大学) 大藤尚哉(日本体育大学) 森 俊介(福岡大学) 泉 浩(明治大学)

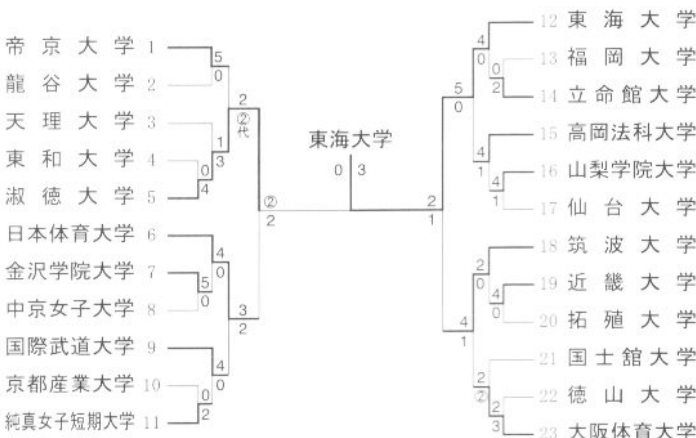
女子団体5人制	
優勝	東海大学
準優勝	淑徳大学
3位	日本体育大学
3位	筑波大学
優秀選手	塚田真希(東海大学) 岡明日香(淑徳大学) 佐藤真紀子(日本体育大学) 長瀬めぐみ(筑波大学)

女子団体3人制	
優勝	日本大学
準優勝	湊川短期大学
3位	福岡工業大学
3位	名城大学
優秀選手	滝口並穂(日本大学) 山崎飛鳥(湊川短期大学) 加藤幸恵(福岡工業大学) 平林真理(名城大学)

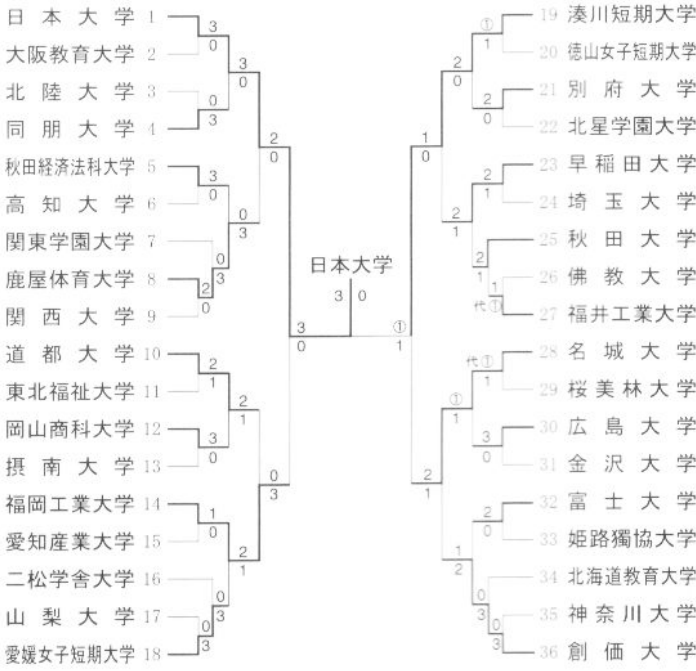
男子団体対戦表



女子団体5人制対戦表



女子団体3人制対戦表



社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail:gakujuren@gakujuren.or.jp URL:http://www.gakujuren.or.jp